



各 位

平成18年 5月12日

クニミネ工業株式会社  
代表取締役社長 國峯 保彦  
(JASDAQ コード番号 5388)  
問合わせ先 取締役管理本部長 小山 孝志  
電話番号 03-3866-7255

## 平成18年3月期連結・単独業績予想の修正について

平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想について、平成17年11月18日付当社「平成18年3月期中間決算短信(連結)」及び同日付当社「平成18年3月期個別中間財務諸表の概要」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成18年3月期連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,810	640	300
今回修正 (B)	9,573	501	229
増減額 (B-A)	△ 237	△ 139	△ 71
増減率	△ 2.4%	△ 21.7%	△ 23.5%
前期(平成17年3月期)実績	9,397	663	272

### 2. 平成18年3月期単独業績予想の修正等

(1) 通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,295	550	250
今回修正 (B)	9,083	526	340
増減額 (B-A)	△ 212	△ 24	90
増減率	△ 2.3%	△ 4.2%	36.1%
前期(平成17年3月期)実績	8,927	523	192

### 3. 修正理由

売上高につきましては、ベントナイト事業部門は、ペット関連向けは、競争の激化および価格の下落により減収、土木建築関連向けも、公共工事の減少、民間工事の小型化ならびに産業廃棄物処分場向けの減少等により減収となる見込ですが、鋳物関連向けが、乗用車や建設機械等の生産台数が好調を維持したこと等により増収となる見込であります。アグリ事業部門は、省力剤包装の受注および生産は順調に推移しましたが、溶出制御剤等の数量が落ち込み、全体としては減収となる見込であります。化成品事業部門は、止水材や環境保全処理剤が積極的な営業活動により順調に推移したため、増収となる見込であります。全体としては、連結は予想額より2億37百万円減の95億73百万円、単独は2億12百万円減の90億83百万円となる見込であります。

経常利益につきましては、前期から行っている供給体制の整備が当期には十分に寄与しなかったこと、原材料等の価格が高騰したこと等による原価増等がありましたため、為替差益や、単独においては子会社からの配当収入では、そのコスト上昇分を補うことはできませんでした。そのため、連結は予想額より1億39百万円減の5億1百万円、単独は24百万円減の5億26百万円となる見込であります。

当期純利益につきましては、連結は、子会社の税効果の評価性引当額の影響等により、予想額より71百万円減の2億29百万円、単独は、法人税等の負担額の減少等により90百万円増の3億40百万円となる見込であります。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。